

さくら市 まちづくり報告書 別冊

～担当課による指標の分析～

令和3年2月

栃木県さくら市

まちづくり報告書別冊について

はじめに

第2次さくら市総合計画では、6の政策、27の施策、102の基本事業を上位の目標を細分化する形で定めており、これらのうち、施策と基本事業にそれぞれ成果指標とその目標値を設定しております。

市では、毎年度のまちづくりの結果を、成果指標を活用して評価することで、次の施策や事業展開に活かしています。

まちづくり報告書では、各施策における状況について大まかに把握することを目的とし、施策・基本事業評価の結果を施策単位で掲載しましたが、本別冊では、各成果指標について分析した結果を掲載します。

■掲載例と見方の説明

- ①第2次さくら市総合計画の掲載順に政策と施策の名称を掲載しています。
- ②成果指標の推移から、評価する年度についての成果指標の評価を記載しています。
◎：達成 ○：順調 △：横ばい ×：悪化 -：評価不能
- ③成果指標の基準値や直近の数値、目標値を掲載しています。
- ④成果指標の評価について、担当課が「状況」と「原因」に分けて分析した結果を掲載しています。
- ⑤施策に含まれる基本事業の名称を掲載しています。
- ⑥基本事業の成果指標も施策と同様に掲載しています。

政策Ⅰ 市民とともに築く自立した行財政

①

I-1 市民ネットワークあふれるまちづくりの推進

②

③

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
市民と行政の協働によるまちづくりがされていると思う市民の割合	%	◎	41.6	58.6	62.5	44.0	総合政策課

状況：目標値を18.5ポイント上回り達成しています。

④

原因：市民の方の協働によるまちづくり意識の向上と、行政から市民へ協力をお願いするまちづくり事業の増加が大きな要因と考えられます。

⑤

01 市民と行政の協働の体制づくり

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
市民との協働により実施した事務事業数	件	◎	34	44	52	34	総合政策課

状況：平成30年度に比べ8件増加し、目標を達成しています。

⑥

原因：市民と行政の協働による業務や、イベントが定着してきたためと考えられます。

政策 I 市民とともに築く自立した行財政

I-1 市民ネットワークあふれるまちづくりの推進

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
市民と行政の協働によるまちづくりがされていると思う市民の割合	%	◎	41.6	58.6	62.5	44.0	総合政策課
<p>状況：目標値を18.5ポイント上回り達成しています。</p> <p>原因：市民の方の協働によるまちづくり意識の向上と、行政から市民へ協力をお願いするまちづくり事業の増加が大きな要因と考えられます。</p>							
協働により市政が運営されていると感じる職員の割合	%	◎	54.9	58.9	59.1	57.0	総合政策課
<p>状況：目標値を2.1ポイント上回り達成しています。</p> <p>原因：市役所各課の業務を進めるうえで、市民との協働による市政運営が多くなってきたと実感する職員が増加したことによると考えられます。また、庁内に若手職員で構成される「市民協働推進チーム」が結成されたことも要因と思われます。</p>							

01 市民と行政の協働の体制づくり

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
市民との協働により実施した事務事業数	件	◎	34	44	52	34	総合政策課
<p>状況：平成30年度に比べ8件増加し、目標を達成しています。</p> <p>原因：市民と行政の協働による業務や、イベントが定着してきたためと考えられます。</p>							
委員を公募した委員会等の割合	%	×	23.3	23.5	10.2	25.0	総合政策課
<p>状況：平成30年度に比べ13.3ポイント減少し、目標値は達成していません。</p> <p>原因：市民と行政で協働して取り組むまちづくりの意識は徐々に高まっていますが、公募しても応募がない委員会も多いことが原因の一つと考えられます。</p>							

02 市民活動の活性化

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
ボランティアをしている市民の割合	%	△	10.3	11.4	10.9	13.0	総合政策課
<p>状況：平成30年度より0.5ポイント減少し、目標値は達成していません。</p> <p>原因：ボランティア活動をしたい市民と、ボランティアを募集する団体とのマッチング不足が一つの要因と考えられます。</p>							
市民活動団体数	団体	◎	73	86	88	73	総合政策課
<p>状況：平成30年度より2団体増加し、目標値を達成しています。</p> <p>原因：既存団体が継続して活動し、且つ新たに地域交流やまちづくりを目的にした団体が設立されたことが原因と考えられます。</p>							

03 地域コミュニティ活動の活性化

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
自治会活動に参加している市民の割合	%	◎	44.3	49.6	46.9	46.0	総務課
<p>状況：H30年度と比較し、2.7ポイント減少しました。</p> <p>原因：自治会加入率の低下に伴い、各自治会（行政区）における各種自治会活動の参加機会は変化していないものの、自治会活動に参加する市民の割合が低下したためと思われます。</p>							
市民の自治会（行政区）加入率	%	◎	71.9	70.4	69.8	68.0以上	総務課
<p>状況：H30年度と比較し、0.6ポイントの減少。</p> <p>原因：昨年同様、自治会加入世帯数は増加しているものの、総世帯数の増加がそれ以上にあるため、加入率が微減となっております。</p>							

I-2 適正な事務執行とサービス提供

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
行政事務の執行において法令違反等があった件数	件	◎	0	0	0	0	総務課
<p>状況：H31年度においても法令違反等はありませんでした。</p> <p>原因：適正な行政事務が執行されているためです。</p>							

01 快適な窓口サービスの推進

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
窓口の職員対応に満足している市民の割合	%	◎	87.8	92.3	93.3	90.8	市民課
<p>状況：平成30年度と比較して、1.0ポイント上昇し、計画目標値を超えています。</p> <p>原因：総合窓口として来庁者への的確な案内の実施や、臨時職員による丁寧な接客と積極的な声かけが行われている事が、来庁者からの好印象につながっていると思われます。</p>							
個人番号及び個人番号カードを活用した独自利用の件数	件	○	0	3	3	10	総合政策課
<p>状況：独自利用の件数は3件で平成30年度と変化ありません。</p> <p>原因：令和元年度5月と12月に庁内に対し新規の独自利用事務の希望調査を行いました。回答がありませんでした。</p>							

02 開かれた議会運営

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
議会で議論・議決した内容を知っている市民の割合	%	×	28.9	25.3	23.3	35.0	議会事務局
<p>状況：H30と比較し、2.0ポイント下落しました。</p> <p>原因：ユーチューブによる議会動画配信や、議会だよりの電子書籍掲載といった伝達手段を用いて周知を図ってきましたが、政治・議会への無関心を払拭することができませんでした。</p>							

03 適正な財務会計の執行

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
定例監査、決算審査で財務会計行為が不適正とされた件数	件	◎	0	0	0	0	監査委員事務局
<p>状況：概ね適正です。</p> <p>原因：適正に財務会計行為が行われていたためです。</p>							

04 適正な選挙事務の執行

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
選挙事務が不適正とされた件数	件	◎	0	0	0	0	選挙管理委員会事務局
状況：概ね適正です。 原因：適正に選挙事務が行われていたためです。							

05 適正な会計処理

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
現金出納検査で会計処理が不適正とされた件数	件	◎	0	0	0	0	会計課
状況：不適正な会計処理はありませんでした。 原因：適正な会計処理が行われていたためです。							

06 外国人向けのサービス提供

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
行政等が外国人向けに発行した刊行物の件数	件	◎	5	11	12	10	総合政策課
状況：平成30年度より1件増加し、目標値を達成しました。 原因：災害時における外国人への支援を充実させるため要支援者台帳の基礎となる要支援プランの多言語化を行いました。							

07 適正な個人情報の管理

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
個人情報の漏えい件数	件	◎	0	0	0	0	総務課
状況：個人情報の漏えいはありませんでした。 原因：適正な管理が行われていたためです。							

08 適正な電算システムの管理

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
基幹電算システムがダウンした件数	件	◎	0	0	0	0	財政課
状況：システムダウンは0件です。目標値を達成しています。 原因：基幹系業務のサーバーはクラウド化されており、障害の発生を未然に防ぐ体制が整えられていることに加え、システム運用の熟度が向上したことも要因と考えます。							

I-3 効果的・効率的な行政経営の推進

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
効果的・効率的なまちづくり（行政経営）が進められていると思う市民の割合	%	◎	44.8	51.5	55.0	50.0	総合政策課
<p>状況：30年度より3.5ポイント改善し、目標を5.0ポイント上回っています。 目標を達成しています。</p> <p>原因：職業別で「学生」「教員・公務員」「自営業・会社経営」の数値が特に高くなっています。</p>							
効果的・効率的なまちづくり（行政経営）が進められていると思う職員の割合	%	×	50.4	46.3	47.0	60.0	総合政策課
<p>状況：30年度より0.7ポイント改善しましたが、基準値より3.4ポイント、目標値より13.0ポイント下回っています。</p> <p>原因：職位別では「係長・副主幹兼係長・主幹兼係長」の、部門別では「建設部・上下水道事務所」の数値が低い傾向が続いています。 1年度は、特に「技能労務職」の数値が大きく悪化しています。</p>							

01 成果を重視した行政経営の確立

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
施策や事業の成果（指標）を意識して業務を行っている職員の割合	%	×	81.7	75.0	75.0	85.0	総合政策課
<p>状況：実績値は30年度から変化ありません。 基準値より6.7ポイント、目標値より10.0ポイント下回っています。</p> <p>原因：職位別で「（単独）副主幹・主幹」「係長・副主幹兼係長・主幹兼係長」の数値が低い傾向が続いています。</p>							
行政評価と予算・決算作業が連携していると思う職員の割合	%	×	57.4	52.0	52.6	70.0	総合政策課
<p>状況：30年度より0.6ポイント改善しましたが、基準値より4.8ポイント、目標値より17.4ポイント下回っています。</p> <p>原因：職位別では「係長・副主幹兼係長・主幹兼係長」「課長級」の、部門別では「建設部・上下水道事務所」の数値が低い傾向が続いています。</p>							

02 職員能力と組織力の向上

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
人事評価・研修・OJTが有効に機能していると思う職員の割合	%	◎	46.3	54.2	56.3	54.8	総務課
<p>状況：目標値を達成しております。</p> <p>原因：人事評価結果の一部を処遇に反映させたためです。R1年度から前年度結果を勤勉手当に反映させたことから、ある程度数値の向上が見込まれると考えます。</p>							
組織・職員が市民・地域の問題や行政課題に関し迅速かつ適切に解決できていると思う職員の割合	%	△	65.1	67.8	67.1	70.6	総務課
<p>状況：目標値は達成しておらず、H30年度から0.7ポイント減少しています。</p> <p>原因：事務事業評価等に基づき、業務の取捨選択を進めるなど、効率的な事務執行に務めていますが、退職等職員の増加に伴い、1人あたりの業務量が増加し、新たな問題や課題に迅速に対応することが困難なためです。</p>							
部門内・部門間のコミュニケーション・協力体制が良好だと思える職員の割合	%	◎	55.9	67.3	68.0	62.8	総務課
<p>状況：目標値を達成しています。</p> <p>原因：比較的小規模の人事異動等であったことにより、構築された職場の人間関係が継続できたことによるものと思われます。</p>							

03 職員定員の適正管理

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
人口1,000人あたりの職員数（公営企業等除く）	人	◎	6.60	6.85	6.88	6.94以下	総務課
<p>状況：目標値を達成しています。</p> <p>原因：適正な定員管理に努めたためです。</p>							

04 広域行政・交流の取組みの促進

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
広域交流などにより相互補完しているサービスメニュー件数	件	◎	18	19	19	18	総合政策課
<p>状況：実績値は30年度から変化ありません。 目標を達成しています。</p>							
姉妹都市との交流イベントなどの件数	件	×	11	10	6	13	総合政策課
<p>状況：30年度より4件減少し、目標値は達成していません。</p> <p>原因：例年下半期に実施される姉妹都市交流大会（主にスポーツ大会）が新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からすべて中止となったことが原因と考えられます。</p>							

05 広報・広聴の充実

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
市政情報の提供の満足度	%	◎	83.1	85.2	84.5	84.0	総合政策課
<p>状況：前回調査（H30年度実施）と比較して0.7ポイント下がっていますが、基準値（H26年）と比較して1.4ポイント上がっており、目標値（R02年）を達成しています。</p> <p>原因：ほぼ横ばいですが、移住定住HP、各種SNS、カタログポケット、さくら市観光ナビなどの発信する場所が増えたことが、目標値達成の原因と考えられます。</p>							
多様な市民の声をまちづくり等に取り入れる仕組みができていると思う市民の割合	%	◎	37.0	45.6	50.7	38.0	総合政策課
<p>状況：前回調査（H30年度実施）と比較して5.1ポイント上がっており、基準値（H26年）と比較して13.7ポイント上がっており、目標値（R02年）を達成しています。</p> <p>原因：行政評価や地方創生の取り組みがある程度、評価されているものと考えられます。</p>							

I-4 透明で健全な財政の確立

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
実質赤字比率	%	◎	赤字額なし	赤字額なし	赤字額なし	赤字額なし	財政課
<p>状況：普通会計において、実質赤字額が生じていないため、計画どおりの成果です。</p> <p>原因：歳入の決算額について、当初予算と比較して大幅な減額がなかったことによります。</p>							
連結実質赤字比率	%	◎	赤字額なし	赤字額なし	赤字額なし	赤字額なし	財政課
<p>状況：普通会計及び特別会計、企業会計において、実質赤字額が生じていないため、計画どおりの成果です。</p> <p>原因：歳入の決算額について、当初予算と比較して大幅な減額がなかったことによります。</p>							
実質公債費比率	%	◎	9.4	7.2	7.3	9.4	財政課
<p>状況：平成30年度から0.1ポイント悪化し7.3%となりました。</p> <p>原因：合併特例債などの公債費の償還がピークとなっているためです。</p>							
将来負担比率	%	◎	将来負担比率なし	将来負担比率なし	将来負担比率なし	将来負担比率なし	財政課
<p>状況：平成30年度と同様に、将来負担比率なしとなっています。</p> <p>原因：起債残高が減少し、将来負担比率に影響を及ぼすことはありませんでした。（H30年度末 16,438,893千円→R1年度末 15,792,315千円）</p>							

01 自主財源の確保

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
自主財源比率	%	○	52.2	52.0	52.5	53.0	財政課
<p>状況：平成30年度に比べ0.5ポイント増加して、52.5%となりました。</p> <p>原因：個人市民税や固定資産税が増額となったのが主な要因です。（H30年度 6,961,479千円→R1年度 6,995,236千円）</p>							
市税収納率（国民健康保険税を除く）	%	◎	92.3	97.9	98.4	94.1	税務課
<p>状況：平成30年度に比べ0.5ポイント上昇し、目標値を達成しました。</p> <p>原因：財産調査を徹底し、滞納処分を実施しました。</p>							

02 公共施設の適正化

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
普通財産のうち未利用地の占める割合	%	○	44.3	43.9	43.7	42.0	財政課
<p>状況：未利用地の指標が前年度と比較して0.2ポイント減少しました。</p> <p>原因：平成30年度に用途廃止した市営住宅の売払いを実施したことが主な要因です。</p>							

03 計画的・効率的な財政運営

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
経常収支比率	%	×	85.9	94.7	91.4	85.9	財政課
<p>状況：3.3ポイント改善し、91.4%となりました。</p> <p>原因：塩谷広域行政組合環境施設建設費負担金が事業完了に伴い減少したこと、下水道事業負担金のうち繰出基準外分が増加したことが主な原因です。</p>							
市民一人当たり市債残高	円	○	380,718	372,612	358,769	350,000	財政課
<p>状況：13,843円減額し、358,769円となりました。</p> <p>原因：起債額が減少し償還額が上回ったのが原因です。</p>							

政策Ⅱ 福祉の充実と安心の社会保障

Ⅱ-1 助け合いと支え合いの地域福祉

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
地域で支え合っていると思う市民の割合	%	×	64.3	58.6	58.5	66.8	福祉課
<p>状況：平成30年度から0.1ポイント減少しています。</p> <p>原因：アンケートの年齢別内訳によると平成30年度と比較して、20～29歳は9.0ポイント増加したものの、60～64歳が10.1ポイント、65～69歳が6.8ポイント減少しています。定年退職後に地域にいる時間が長くなり、繋がり希薄さを感じているものと推測されます。</p>							

01 地域福祉の理解促進

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
地域福祉活動・福祉ボランティアを行っている市民の割合	%	○	9.4	11.3	10.9	11.9	福祉課
<p>状況：平成30年度から0.4ポイント減少しています。</p> <p>原因：アンケートの年齢別内訳によると平成30年度と比較して70歳以上が9.2ポイント減少しています。高齢のため活動しない、または活動できない方が増加しているものと思われます。</p>							
福祉関連NPO・ボランティア団体数	団体	◎	38	60	55	35	福祉課
<p>状況：平成30年度と比較して5団体減少しています。 NPO法人数 8団体 ボランティア団体数 22団体 ご近所ふれあいサロン 25団体</p> <p>原因：ご近所ふれあいサロンは増加傾向にあるものの、ボランティア団体数が減少しており、ボランティアの担い手不足が懸念されます。</p>							

02 地域福祉活動の推進

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
各行政区で実施している地域福祉事業数	事業	◎	13	24	25	16	福祉課
<p>状況：平成30年度と比較して1団体増加しています。</p> <p>原因：社会福祉協議会によるご近所ふれあいサロン助成金の交付団体数が25団体になったためです。また、行政区、任意団体等にて実施している、助成金を申請するまでに至らないものも増加しています。</p>							
地域福祉事業を行っている行政区の割合	%	◎	16.0	41.3	42.7	17.3	福祉課
<p>状況：平成30年度から1.4ポイント増加しています。</p> <p>原因：ご近所ふれあいサロンの実施行政区数が1地区増加したためです。なお、ご近所ふれあいサロンは近隣の行政区と共同で実施しているところもあります。</p>							

03 見守り活動の推進

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
見守り活動の実践者数	人	○	60	52	65	90	高齢課
状況：平成30年度と比較して、13人増加しています。							
原因：高齢化率の上昇に伴い、見守り活動が必要な高齢者が増えているためです。							

II-2 生きがいをもたらす高齢者福祉

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
生きがいを持っている高齢者の割合	%	△	82.9	80.4	82.8	85.0	高齢課
<p>状況：平成30年度と比較して、2.4ポイント増加しています。目標値との比較では、2.2ポイント、達していません。</p> <p>原因：高齢者が生きがいを得るきっかけとなる情報や周囲の声掛けの機会が十分でないことや、フレイル（虚弱）による気力体力の減少によりそれまでの生きがいを失ってしまったというケースも考えられます。</p>							

01 高齢者の社会参加の推進

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
社会参加している高齢者の割合	%	×	44.3	45.1	39.6	55.0	高齢課
<p>状況：平成30年度と比較して、5.5ポイント減少しています。目標値との比較では15.4ポイント、達していません。</p> <p>原因：社会参加の意欲はあるものの、活動の場の情報提供が充分でないために、ニーズに対するマッチングが上手く行われていないことが要因と考えられます。また、フレイル（虚弱）による気力体力の減少により社会参加の意欲が低下してしまった可能性もあります。</p>							
住みよいと思う市民の割合	%	×	75.4	68.3	71.1	80.0	総合政策課
<p>状況：30年度より2.8ポイント改善し、目標との差が8.9ポイントになりました。</p> <p>原因：元来、低めの単身世帯の数値が悪化しました。また「農林水産業」の数値が30年度より13ポイント以上悪化しています。一方「20～29歳」「学生」「複数世帯」「居住年数5年以内」の数値が高くなっています。</p>							

02 介護予防対策の充実

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
自立している高齢者の割合	%	×	88.4	84.1	83.8	89.0	高齢課
<p>状況：平成30年度と比較して、0.3ポイント減少しています。</p> <p>原因：団塊の世代が後期高齢者に近づき要介護認定者が増加するとともに、要介護認定を受ける割合が大きく上昇する75歳以上の後期高齢者人口が増加していることが要因と考えられます。</p>							
健康によい生活習慣の平均実践項目数	個	○	5.37	5.59	5.42	6.00	高齢課
<p>状況：平成30年度と比較して、0.17個減少しています。目標値との比較では、0.58個、達していません。</p> <p>原因：高齢者各個人における健康維持及び増進のためにどのような取り組みが効果的かという情報を得る機会が少ないということが考えられます。</p>							
介護予防教室参加者数	人	×	629	571	350	700	高齢課
<p>状況：平成30年度と比較して、221人減少しています。</p> <p>原因:地域の通いの場等における健康体操が普及したことにより、通いの場からの依頼に基づく高齢者教室の参加者数が減少したことが考えられます。</p>							

03 介護サービス体制の整備

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
介護サービス体制が充実していると思う高齢者の割合	%	◎	77.3	82.8	80.9	80.0	高齢課
<p>状況：平成30年度と比較して、1.9ポイント減少しています。</p> <p>原因：必要なサービス供給と需要のバランスが取れていないことが考えられます。現在第7期高齢者総合保健福祉計画に基づき広域型特別養護老人ホームの整備を進めており、入所待機者の解消が期待されます。</p>							
認知症サポーター数	人	◎	1,381	4,099	5,425	2,500	高齢課
<p>状況：平成30年度と比較して、1,326人増加しています。</p> <p>原因：養成講座の開催回数が増加したこと、及び小中学校等で講座を開催したことが要因と考えられます。</p>							

04 在宅福祉サービスの充実

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
在宅福祉サービスが充実していると思う高齢者の割合	%	×	27.2	21.7	21.9	28.6	高齢課
<p>状況：平成30年度と比較して、0.2ポイント増加しています。</p> <p>原因：既存の在宅福祉サービスと高齢者のニーズが合致していないことが要因と考えられます。また、在宅福祉サービスの周知不足も一因と考えられます。</p>							

Ⅱ-3 自立・支援・社会参加の障がい者（児）福祉

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
在宅で生活している障がい者（児）の割合	%	△	97.3	97.1	97.0	98.0	福祉課
<p>状況：平成30年度から0.1ポイント減少しています。</p> <p>原因：障害者手帳所持者は増加していますが、平成30年度の施設入所者が56人、令和元年度は61人で5名増加したことが原因と考えられます。</p>							

01 障がい者（児）支援体制の充実

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
健診・相談をきっかけとして要支援とされた人数	人	-	73	87	63	-	福祉課
<p>状況：平成30年度より24人減少しています。</p> <p>原因：新型コロナウイルス感染症防止に伴い、令和2年3月の乳幼児健診が中止になったためと考えられます。</p>							
経過観察・療育等でケアをしている児童数	人	-	5	11	8	-	福祉課
<p>状況：平成30年度より3人減少しています。</p> <p>原因：新型コロナウイルス感染症防止に伴い、令和2年3月の乳幼児健診が中止になったためと考えられます。</p>							
健診・相談で早期発見された児童数	人	-	4	3	5	-	福祉課
<p>状況：平成30年度より2人増加しています。</p> <p>原因：新型コロナウイルス感染症防止に伴い、令和2年3月は乳幼児健診が中止になっています。しかし、受診者数が増えていることから、個別でのフォローが行えていると考えられます。</p>							

02 自立した生活の支援

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
自立支援給付事業利用者数、障害児通所支援利用者数	人	◎	4,626	6,182	7,020	4,650	福祉課
<p>状況：平成30年度から838人増えています。</p> <p>原因：障害児通所支援サービス利用条件を緩和したことにより、障がい児のサービス利用者が増加したこと、市内に障がい者・児の通所事業所が増えたことにより障がい者・児のサービス利用者が増加したことが主な要因です。</p>							
施設入所・入院から在宅生活への延べ移行人数	人	◎	4	5	11	6	福祉課
<p>状況：平成30年度より6人増加しています。</p> <p>原因：入院患者に退院支援を行い、福祉サービスの利用等で在宅生活環境が整い入院から在宅生活へ移行出来た人が増えたことが主な要因です。</p>							

03 地域生活の支援

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
地域生活支援事業利用者数	人	◎	1,033	1,249	1,322	1,050	福祉課
<p>状況：平成30年度から73人増加しています。</p> <p>原因：地域生活支援事業の浸透により、利用者が増加しています。特に相談支援事業及び日常生活用具給付等事業の利用者が増加したことが主な要因です。</p>							

04 社会参加の促進

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
就労相談・支援により就労した障がい者数	人	◎	0	3	5	3	福祉課
<p>現況：平成30年度と比較して2人増加しています。</p> <p>原因：福祉サービスを利用して、就労に必要な訓練や求職活動の支援を受けた方が増加したことが主な要因です。</p>							
障がい者（児）の社会参加事業参加者数	人	◎	475	531	534	500	福祉課
<p>現況：平成30年度と比較して3人増加しています。</p> <p>原因：障害者団体の会員数は減少している状況ですが、研修等の事業参加者が増加しました。</p>							

II-4 健康・予防・医療体制の充実と健康づくり

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
自身が健康だと思う市民の割合	%	△	76.1	77.4	74.6	80.0	健康増進課
<p>状況：基準値と比べて1.5ポイント減少しています。</p> <p>原因：アンケート結果で20歳～29歳76.4%、30歳～39歳80.5%、40歳～49歳77.2%、50歳～59歳71.6%、60歳～64歳70.4%、65歳～69歳66.9%、70歳以上69.5%と全体的に減少しています。</p>							

01 自主的な健康づくりの推進

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
健康により生活習慣を実践している市民の割合	%	△	81.3	80.5	79.7	85.0	健康増進課
<p>状況：基準値と比べて1.6ポイント減少しています。平成30年度と比べて0.8ポイント減少しています。</p> <p>原因：アンケート結果で、主食・主菜・副菜のそろった食事をとるに○を付けた方が45.7%と4.3ポイント減少、週1回60分以上又は週2回30分以上の運動をするに○を付けた方が25.3%と4.2ポイント減少し、全体的に減少しています。（平均1.73ポイント減少）</p>							

02 保健予防対策の充実

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
がん健診により精密検査が必要とされた市民の精密検査受診率	%	△	79.1	80.0	80.2	85.0	健康増進課
<p>状況：基準値と比べて1.1ポイント増加しています。平成30年度と比べて0.2ポイント増加しています。</p> <p>原因：精密検査受診勧奨通知により、特に大腸がん精検受診率が6.2%と大幅に増加しています。 受診率：胃がん精検受診率77.0%、肺がん71.1%、大腸がん75.8%、子宮がん80.6%、乳がん89.0%</p>							
乳幼児健診により精密検査が必要とされた乳幼児の精密検査受診率	%	×	95.0	77.5	89.5	100.0	健康増進課
<p>状況：基準値と比べて5.5ポイント減少していますが、平成30年度と比べて12.0ポイント増加しています。</p> <p>原因：電話や訪問等で受診勧奨をしたことにより、精密検査受診率が上昇したと考えられます。</p>							

03 地域医療体制の整備

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
かかりつけ医がいる市民の割合	%	△	77.2	75.7	76.1	80.0	健康増進課
<p>状況：平成30年度と比較して0.4ポイント増加しています。</p> <p>原因：市民がいつでも身近な場所で安心して医療を受けることができるかかりつけ医を持つことの啓発として、広報等での周知が市民へできたものと考えられます。</p>							
市内医療機関での救急患者受入人数	人	×	3,667	2,565	2,551	3,800	健康増進課
<p>状況：平成27年度から、年々救急患者数は減少しています。</p> <p>原因：救急医療機関として、平日時間外、深夜、休日診療対応の体制を整えていますが、市外医療機関をかかりつけ医とする市民は、あらかじめ救急時の受診依頼を行っていたり、宇都宮医療圏への救急受診を選択するケースが生じています。</p>							

II-5 安心で安全な子育て環境づくり

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
子育て支援のサービスや環境が充実していると思う保護者の割合	%	○	80.1	81.8	82.3	83.0	こども政策課
<p>状況：平成30年度に比べ0.5ポイント増加しています。</p> <p>原因：新設や改築など保育施設の充実を図っており、数値は微増傾向にあります。令和元年度においては待機児童が発生しており、目標値までは到達していないものと考えられます。</p>							
出生数（出典：栃木県人口動態統計）	人	×	416	334	367	416	こども政策課
<p>状況：平成30年度に比べ33人増加しています。</p> <p>原因：子育て環境の充実を図ってきたことが、前年度からの増加の要因の一つと考えられます。ただし、目標値には達しておらず、全国的な出生数の減少の中で、さくら市を子育ての場として選んでもらうために更なる子育て支援の推進が必要と考えられます。</p>							
子育てが楽しいと思う保護者の割合	%	○	93.6	97.3	93.8	94.0	こども政策課
<p>状況：平成30年度に比べ3.5ポイント減少していますが、目標値に近い数値となっています。</p> <p>原因：目標値に近い結果は、各種子育て支援サービスの充実、周知が図られてきたものと考えられます。</p>							

01 未就学児・児童の教育・保育サービスの充実

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
保育所・認定こども園・地域型保育事業所の待機者数（4月1日現在）	人	×	0	16	27	0	こども政策課
<p>状況：4月1日現在、27人の待機児童が発生しており、平成30年度に比べ11人増加しています。</p> <p>原因：子育て世帯の転入や育児休暇終了後の利用申込者が増加したことにより、受け入れ枠が不足し待機児童が増加したものと考えられます。</p>							
学童保育の待機者数（3月31日現在）	人	◎	0	0	0	0	こども政策課
<p>状況：3月31日現在、待機児童は発生していません。</p> <p>原因：学童保育の利用者は増加傾向にあり、これに対応するため、施設の新設や学校プール管理棟の改修を行い、供給体制を強化し対応することができています。</p>							

02 子どもの遊び場の確保

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
子どもが放課後等安心して遊ぶ場所があると思う保護者の割合	%	◎	45.0	50.7	51.6	45.0	こども政策課
<p>状況：平成30年度に比べ0.9ポイント増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>原因：児童センター等の周知、指定管理者等の業務習得が図られたものと考えられます。</p>							

03 子育てのための経済支援

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
児童医療費助成登録認定率	%	○	93.0	98.4	98.0	100.0	こども政策課
<p>状況：平成30年度に比べ0.4ポイント減少しています。</p> <p>原因：出生や転入時における手続きを遺漏なく進めるため、関係機関と連携して目標値達成を目指しています。しかし、施設入所児や出生後間もなく加入保険の発行を待つ方がいるため、100%達成が難しいものと考えられます。</p>							
経済的負担軽減サービスを受けているひとり親家庭数	世帯	-	373	356	358	-	こども政策課
<p>状況：平成30年度に比べ2世帯増加しています。</p> <p>原因：ひとり親医療費助成受給資格者数は、増減で成果を判断するものではなく、目標値が定められていません。ひとり親家庭が各種制度を理解していることが重要であるため、今後も制度の周知に努めていきます。</p>							
婚姻数	件	×	216	180	203	220	総合政策課
<p>状況：目標を下回っています。</p> <p>原因：結婚支援事業（咲くらコン）については、全2回実施するところを新型コロナウイルスの感染拡大防止のため後半を中止としました。（カップル数は前半開催の11組）社会全体の傾向として婚姻件数は増加傾向にあります。</p>							

04 子育て不安の解消

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
子育てについて気軽に相談できる相手がいる保護者の割合	%	△	98.6	99.2	98.5	98.6	こども政策課
<p>状況：平成30年度に比べ、0.7ポイント減少していますが、目標値に近い数値になっています。</p> <p>原因：子育て世代包括支援センターや子育て支援拠点及び要保護児童対策地域協議会を活用し、子育てをする家庭が孤立しない相談体制の推進が図られたものと考えられます。</p>							
市の子育て相談・情報交換の場を知っている保護者の割合	%	○	53.0	62.8	66.3	70.0	こども政策課
<p>状況：平成30年度に比べ3.5ポイント増加し、目標に近い数値になっています。</p> <p>原因：ホームページの案内、出生や転入時に子育て家庭に対し「子育てガイドブック」を提供しており、子育てサービスの情報が周知されたためと考えられます。</p>							

Ⅱ-6 生活を支援する社会保障と社会福祉

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
社会福祉（社会保障）の充実に関する市民満足度	%	◎	82.1	88.4	86.0	85.1	福祉課
<p>状況：平成30年度比で2.4ポイント減少し令和元年度において86.0%となりましたが、引き続き目標値である85.1%を超えています。</p> <p>原因：国、県、市それぞれにおける社会福祉（社会保障）施策に関し、一定程度の評価が得られおり、市民満足度につながっていると考えられます。</p>							

01 医療保険制度の健全運営

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
国民健康保険税収納率	%	◎	88.3	94.9	95.3	91.0	市民課
<p>状況：平成30年度と比較して、0.4ポイント上昇し計画目標値を超えています。</p> <p>原因：収納対策室において、財産調査を定期的実施するなど、滞納処分等に適宜対応していることが主な原因と考えられます。</p>							
後期高齢者保険料収納率	%	○	97.8	99.6	99.3	99.4	市民課
<p>状況：平成30年度と比較して、0.3ポイント下回りました。</p> <p>原因：年齢到達等による未納者の変動によるものと考えられます。収納対策室において、財産調査を定期的実施するなど、滞納処分等に引き続き対応しています。</p>							

02 介護保険制度の健全運営

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
介護保険料収納率	%	◎	84.1	92.2	94.1	86.0	高齢課
<p>状況：平成30年度と比較して、1.9ポイント上昇しており、目標値を達成しています。</p> <p>原因：収納対策強化のほか、コンビニ収納等の便利な納付方法が市民に浸透したことによると考えられます。</p>							

03 生活困窮者の支援

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
市民1,000人あたりの生活保護者数	人	-	6.48	6.72	6.25	-	福祉課
<p>状況：平成30年度比で0.47人減少し、令和元年度において6.25人となりました。これは、令和元年度における県平均10.45人と比べても低い状況です。</p> <p>原因：保護の開始件数は平成30年度が20件、令和元年度が23件と大きく変化していませんが、廃止件数が平成30年度が27件に対し、令和元年度が42件と大きく増加したことによります。</p>							
自立による生活保護廃止件数	件	◎	4	7	14	4	福祉課
<p>状況：平成30年度において7件であったものが、令和元年度においては14件に増加しました。目標値である4件を引き続き達成している状況です。</p> <p>原因：年間の廃止件数42件のうち、就労収入の増加等による保護の廃止件数が14件（33.3％）を占めており、継続した就労指導等の実施により保護者の自立を促進できたことによると考えられます。</p>							
支援により生活困窮状態が改善された件数	件	○	0	8	3	20	福祉課
<p>状況：平成30年度は8件であったものが、令和元年度においては3件に減少し、目標値である20件には及ばない状況となっています。</p> <p>原因：令和元年度はさくら市社会福祉協議会への業務委託による事業実施の初年度であり、同法人における事業実施のノウハウ等の蓄積が不十分であり、直営で実施していた平成30年度に比して指標の達成状況が低下したと考えられます。</p>							

04 安全で快適な公営住宅の供給

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
長寿命対策を実施した公営住宅戸数の割合	%	○	34.6	43.3	45.2	100.0	建設課
<p>状況：長寿命化型改善工事実施予定208戸のうち、令和元年度に実施した4戸を加え94戸実施しました。</p> <p>原因：長寿命化計画に準ずる改修工事としていますが、国庫補助対象外である木造住宅の改修工事については、予算の兼ね合いから順調ではありません。</p>							

政策Ⅲ 文化薫る心豊かな人材の育成

Ⅲ-1 健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
自主的な生涯学習活動に参加している市民の割合	%	△	30.4	32.3	29.0	32.0	生涯学習課
<p>状況：平成30年度に比べると3.3ポイント減少しており、目標値を下回っていますが、近年においては横這いの状態が続いています。</p> <p>原因：既に自主的に生涯学習の取組みを行っている方は継続して行っているが、新たに取り組む始める方が少ないことが原因と考えられます。</p>							

01 学ぶ機会の充実

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
生涯学習講座・イベントの参加者数	人	◎	18,291	22,146	21,926	18,500	生涯学習課
<p>状況：平成30年度と比べると220人減少していますが、目標値は上回っています。</p> <p>原因：新型コロナウイルス感染拡大の影響によりイベント等が中止や縮小されたことに加え感染予防のため自主的に参加を控えた方がいたこと等が原因と考えられます。</p>							
図書館の利用者数	人	◎	147,626	165,477	165,827	150,000	生涯学習課
<p>状況：平成30年度に比べると350人増加しており、目標値を上回っています。</p> <p>原因：平成27年度から指定管理者制度を導入したことにより、民間のノウハウを活かした図書館運営が行われサービスの向上が図られていることが原因と考えられます。</p>							
生涯学習の機会や場の満足度	%	◎	78.1	80.0	83.1	79.0	生涯学習課
<p>状況：平成30年度に比べると3.1ポイント増加しており、目標値を上回っています。</p> <p>原因：生涯学習に関するイベント・講座等において市民のニーズに合った内容のものが提供できていることや、自主活動団体の積極的な取組み等により学習の多様化が図れていることが原因と考えられます。</p>							

02 青少年健全育成体制の強化

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
青少年の健全育成に関心を持っている市民の割合	%	×	63.6	48.8	48.4	65.0	生涯学習課
<p>状況：平成30年度に比べると0.4ポイント減少しておりますが横這いの状態が続いています。目標値については下回っています。</p> <p>原因：青少年健全育成に関する事業については、青少年を持つ親世代に対しては浸透しているが、それ以外の世代においては十分に浸透していないことが原因と考えられます。</p>							

03 家庭教育支援の充実

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
家庭教育支援に関する講座や学級・研修会等の参加者数	人	○	1,484	1,671	1,735	1,750	生涯学習課
<p>状況：平成30年度と比べると64人増加していますが、目標値を下回っています。</p> <p>原因：各種講座等が市民に浸透したことで参加者の増加はみられるが、目標値を下回ったことについては新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部の講座が中止されたことや、講座への参加を控えた方がいたこと等が原因と考えられます。</p>							

Ⅲ-2 芸術・文化・歴史があふれる市民文化の継承

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
芸術・文化・歴史に関する事業に参加した市民の割合	%	◎	43.7	50.1	46.9	43.7	生涯学習課
<p>状況：平成30年度と比較すると、3.2ポイント減少しましたが、目標値は達成しました。</p> <p>原因：僅かながら減少しましたが、概ね横ばいであり、芸術・文化・歴史に関する事業等の機会の充実が図られていると考えられます。</p>							

01 芸術文化活動の推進

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
文化事業参加者数	人	×	15,441	4,473	3,380	6,000	生涯学習課
<p>状況：平成30年度と比較すると、1,093人減少しており、目標値を達成していません。</p> <p>原因：新型コロナウイルス感染拡大の影響等により一部事業が中止・延期されたことによりますが、それらを除くと文化事業参加者数は概ね横ばいとなっています。</p>							

02 歴史的文化的資源の保存・継承・利活用

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
指定文化財に親しんだ市民の割合	%	◎	30.9	31.2	31.5	31.5	生涯学習課
<p>状況：平成30年度と比較すると、0.3ポイント増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>原因：瀧澤家住宅が本オープンした事により、市民の文化財に対する興味が高まってきていると考えられます。</p>							

03 博物館の整備・充実

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
来館者数	人	○	18,032	53,923	22,706	23,000	生涯学習課
<p>状況：30年度と比較すると31,217人の減少となっているものの、概ね目標値に達しています。</p> <p>原因：入館者数の減少の理由は夏の特別展の開催を行わなかったことがあげられます。また、年明けからの感染症拡大による客の減少も原因となっています。</p>							
収蔵資料数	件	◎	5,777	7,313	7,316	6,000	生涯学習課
<p>状況：30年度と比較すると3件増加し、目標値を達成しています。</p> <p>原因：歴史、考古、美術分野と幅広い資料の収集が実現され、地域の博物館として市民への理解が広まっていると考えられます。</p>							
企画展観覧者の満足度	%	◎	92.3	96.0	98.0	93.0	生涯学習課
<p>状況：30年度と比較すると2.0ポイント上昇し、目標値を達成しています。</p> <p>原因：企画展の内容が、家族向けのものから、美術、歴史と、各ジャンルに幅を広げ、多くの来館者の誘致に努めたことが、ポイント上昇につながったものと考えます。</p>							

Ⅲ-3 確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
学校に行くのが楽しいと思っている児童の割合	%	-	86.7	-	-	90.0	学校教育課
平成30年度調査より質問項目から削除されたため、当該指標は取得できませんでした							
学校に行くのが楽しいと思っている生徒の割合	%	-	91.2	-	-	95.0	学校教育課
平成30年度調査より質問項目から削除されたため、当該指標は取得できませんでした							

01 確かな学力の育成

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
基礎的な学力が身についている児童の割合	%	×	94.2	87.9	91.6	95.0	学校教育課
<p>状況：30年度と比較し、3.7ポイント上昇しました。</p> <p>原因：当該年度の学年によって学力にも波があるため、単純に前年度との比較だけでは評価しづらい面がありますが、個別支援教育の実施等により徐々に成果が表れてきています。</p>							
基礎的な学力が身についている生徒の割合	%	◎	71.9	68.6	75.6	75.0	学校教育課
<p>状況：30年度と比較して7ポイント上昇し、目標を達成しています。</p> <p>原因：当該年度の学年によって学力にも波があるため、単純に前年度との比較だけでは評価しづらい面がありますが、T.T（チーム・ティーチング）の実施等により徐々に成果が表れてきています。</p>							
研修や自己研鑽に積極的な教職員の割合	%	×	43.6	29.6	17.4	50.0	学校教育課
<p>状況：30年度と比較し、12.2ポイント低下しました。</p> <p>原因：本指標が教職員の給与に反映されることになったため基準が厳格化され、評定aを取ることが困難になりました。</p>							

02 豊かな心と健やかな体の育成

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
不登校者数の割合（小学校）	%	×	0.7	0.8	1	0.4	学校教育課
<p>状況：30年度と比較し0.2ポイント上昇しました。</p> <p>原因：「魅力ある学校づくり調査研究事業」の趣旨を継続し、不登校の未然防止に努力しています。月5日以上欠席の児童生徒の報告を受け、学校と情報共有したり、研修を行うなどの対応をしています。クラスに登校できない生徒に対しては、別室登校の対応のための臨時講師を配置するなどして、不登校解消に取り組んでいます。</p>							
不登校者数の割合（中学校）	%	×	4.2	5.2	5.4	3.6	学校教育課
<p>状況：30年度と比較し0.2ポイント上昇しました。</p> <p>原因：「魅力ある学校づくり調査研究事業」の趣旨を継続し、不登校の未然防止に努力しています。月5日以上欠席の児童生徒の報告を受け、学校と情報共有したり、研修を行うなどの対応をしています。クラスに登校できない生徒に対しては、別室登校の対応のための臨時講師を配置するなどして、不登校解消に取り組んでいます。</p>							
図書室で借りた図書の冊数（小学校）	冊	◎	33.5	46.7	38.3	36.0	学校教育課
<p>状況：30年度と比較して8.4冊減少していますが、目標値を達成しています。</p> <p>原因：図書事務員による図書室の環境整備が進み、児童が良質な図書を借りやすい環境が形成されています。</p>							
図書室で借りた図書の冊数（中学校）	冊	○	6.7	9.6	8.7	10.0	学校教育課
<p>状況：30年度と比較し、0.9冊減少しています。</p> <p>原因：スマートフォンやタブレットの普及により活字離れが進んでいるため、向上させることが難しくなっていますが、図書事務員による図書室の環境整備を推進し、図書の貸し出しの増加に取り組んでいます。</p>							

03 安全・安心な教育環境の実現

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
小中学校校舎・施設の長寿命化改修率	%	○	0.0	12.5	12.5	25.0	学校教育課
<p>状況：新たな長寿命化改修工事は実施していないため、改修化率に変更がありません。</p>							
施設維持管理上の不備による教育支障件数	件	◎	0	0	0	0	学校教育課
<p>状況：支障件数はありませんでした。</p> <p>原因：施設の不具合等について、学校からの報告・相談を受けた後、即時対応しているため、0件であったと思われます。</p>							
登下校時の児童生徒の事件・事故件数	件	◎	9	4	4	5	学校教育課
<p>状況：30年度と同じ件数で、目標値を達成しています。</p> <p>原因：登下校時の事件・事故には注意するよう学校で指導していますが、児童・生徒が要因ではない事故に巻き込まれているケースもあり、毎年数件の発生があります。</p>							
学校経営・学習支援などにかかわったボランティアの活動件数	件	-	581	-	-	600	学校教育課
<p>平成27年度調査より質問項目から削除されたため、当該指標は取得できませんでした。</p>							

Ⅲ-4 充実した生涯スポーツ社会の実現

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
週1回以上スポーツ、レクリエーションをしている市民の割合	%	○	30.2	33.2	31.5	33.0	スポーツ振興課
<p>状況：平成30年度と比較して1.7ポイント減少しています。</p> <p>原因：アンケート回答者の生活様式やスポーツへの取り組み方等の条件変化により、アンケート結果に反映された部分があると考えます。スポーツに取り組む市民の割合を維持または向上させるため、さらなるスポーツの普及啓発を行ってゆくことが重要です。</p>							

01 生涯スポーツ活動の充実

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
各種スポーツ教室・大会の参加者数	千人	○	129	143	136	145	スポーツ振興課
<p>状況：平成30年度と比較して6.9千人減少しています。</p> <p>原因：新型コロナウイルス感染症の影響により、各種スポーツ教室・大会等の参加者数が一時的に減少したことが影響していると考えられます。今後ともウイルス感染拡大防止や新しい生活様式等に配慮したスポーツへの取り組み方法を検討しながら、さらなる普及啓発を行うことが重要です。</p>							

02 スポーツ施設の整備

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
各体育施設の年間利用者数	千人	×	315	370	292	350	スポーツ振興課
<p>状況：平成30年度と比較し、78千人減少しています。</p> <p>原因：新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、各施設において休館・休場をしたためです。</p>							

03 スポーツ団体・指導者の育成

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
スポーツ団体数	団体	△	429	429	429	440	スポーツ振興課
<p>状況：平成30年度と団体数に増減はありませんが、目標値には到達していません。</p> <p>原因：近年の傾向として、スポーツへの取り組み方法や指向性の変化があり、団体競技から個人競技への移行、またはスポーツ形態の多様性などがあり、競技スポーツからウォーキングや登山などのレクリエーション活動への転換が進んでいることなどがあるためです。</p>							
指導者数	人	◎	312	374	412	340	スポーツ振興課
<p>状況：平成30年度より38名増加しており、目標値に到達しております。</p> <p>原因：体育協会各加盟団体における指導者数、およびスポーツ少年団各団体の指導者数他が増加したことによるものです。さらなる指導者数の維持向上を図るため、引き続き指導者育成に対する取り組みを継続してゆくことが重要です。</p>							

Ⅲ-5 市民一人ひとりの人権尊重

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
人権が侵害された市民のうち、相談できた市民の割合	%	◎	39.6	38.4	50.0	50.0	福祉課
<p>状況：平成30年度から11.6ポイント増加しています。</p> <p>原因：「この1年間に人権が侵害されたことがある」と回答しているのは9.0ポイントで、平成30年度と比較し0.5ポイント減少しています。「黙って我慢した」が7.5ポイント、「相手に抗議した」が8.9ポイント減少しており、人権が侵害されたケースは減少したものの、相談ができた市民が増加したことが推測されます。</p>							

01 人権尊重意識の啓発

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
この一年に人権を侵害する言動をした市民の割合	%	×	8.2	8.2	10.8	7.0	福祉課
<p>状況：平成30年度から2.6ポイント増加しています。</p> <p>原因：アンケートの年齢別内訳によると平成30年度と比較して、各世代で増加傾向にあります。20～29歳が14.9ポイントと著しく増加しています。インターネットやSNSの普及により、若い世代が自身の考えや発言を容易に発信しやすい環境が身近にあるためと推測されます。</p>							

02 男女共同参画社会の推進

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
委員会等における女性委員の割合	%	◎	23.3	31.7	30.7	27.0	総合政策課
<p>状況：平成30年度より1.0ポイント減少していますが、目標値を達成しました。</p> <p>原因：女性委員総数の増加とともに、女性委員のいる委員会数の割合も増加したことが原因と考えられます。</p>							
家庭における男女が平等だと思う市民の割合	%	△	67.5	66.5	65.8	69.0	総合政策課
<p>状況：平成30年度より0.7ポイント減少し、目標値は達成していません。</p> <p>原因：平等だと思う男性の割合が73.6ポイントなのに対し、女性は56.9ポイントという低い数値であることから、女性が男性に家庭のなかで求める役割としての公平感が足りていないことが原因と考えられます。</p>							
自治会等の地域活動の場で男女が平等だと思う市民の割合	%	◎	42.2	52.2	50.9	47.0	総合政策課
<p>状況：平成30年度より1.3ポイント減少してありますが、目標値を達成しております。</p> <p>原因：女性活躍推進法の施行や、推進委員による各種啓発イベント、男女共同参画都市宣言、講座を通じ、概ね半数の市民の方に地域活動における男女共同参画への理解が浸透してきたことが原因と考えます。</p>							
男は仕事、女は家庭という固定的性別役割にとらわれない市民の割合	%	◎	32.7	74.1	78.0	35.0	総合政策課
<p>状況：平成30年度より3.9ポイント増加し、目標値を達成しています。</p> <p>原因：性別、年齢、職業を問わず、全体的に高い傾向にあり、固定的性別役割にとらわれない男女共同参画社会が進んでいます。</p>							

03 子どもの人権尊重

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
子どもの人権確保へのケース管理数	件	-	113	67	93	-	こども政策課
<p>状況：平成30年度に比べ、26件増加しています。</p> <p>原因：啓発活動等により児童虐待防止に対する市民の意識が高まり、児童虐待相談件数や児童虐待通告に繋がっています。また、育児不安等を背景とした、身近な子育て相談のニーズも高まり、母子保健との連携がとれています。</p>							
児童虐待の一時保護・措置件数	件	-	23	19	6	-	こども政策課
<p>状況：平成30年度に比べ、13件減少しています。</p> <p>原因：虐待を受けている児童の一時保護・措置は、児童相談所（県）にて、迅速かつ適切に実施されています。また、啓発活動等により児童虐待防止に対する市民の意識が高まり、児童相談所に相談・通報することで一時保護に繋がるケースがあると考えられます。対象になるさくら市在住のお子さんの兄弟数も増減に影響されます。</p>							

04 配偶者間の人権尊重

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
配偶者の人権確保へのケース管理数	件	-	10	38	38	-	こども政策課
<p>状況：平成30年度に比べ現状維持しています。</p> <p>原因：DVに関する周知活動等により身近にある相談機関の存在は認知されましたが、配偶者への恐れから相談に繋がらない傾向です。特に母親の場合「自分が我慢すれば」と抱え込んでしまい、継続的な相談に繋がらないことが多く、相談者の抱える問題を理解し、安心して相談できる体制づくりが必要と考えられます。</p>							
配偶者からの暴力相談者の一時保護・措置件数	件	-	1	3	3	-	こども政策課
<p>状況：平成30年度に比べ、2件減少しています。</p> <p>原因：DVに関する周知活動等により、市が身近に相談できる機関として認知されたことで、早期の相談支援につながっていると考えられます。</p>							

05 高齢者の人権尊重

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
高齢者の人権確保へのケース管理数	件	-	64	23	36	-	高齢課
<p>状況：平成30年度と比較して、13件増加しています。</p> <p>原因：高齢者に関する相談については、内容が多様化してきており、相談件数の増加に繋がったものと考えられます。</p>							
高齢者の一時保護・措置件数	件	-	3	1	1	-	高齢課
<p>状況：平成30年度と横ばいとなっています。</p> <p>原因：高齢者虐待について継続して広報活動を行ったことにより、民生委員や市民の虐待に対する知識が高まり理解が浸透してきたと考えられます。地域全体が虐待事案に気づき、通報を行うことで、迅速な支援対応に繋がっています。</p>							

政策Ⅳ 時代とニーズに合致した農林漁業の確立

Ⅳ-1 時代とニーズに合致した農林漁業の確立

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
農林水産業総生産額（出典：栃木県市町村民経済生産）	百万円	○	6,646 (H24)	6,685	6,503	6,646	農政課
<p>状況：平成30（28）年と比較して、182百万円減少していますが、全体的には増加傾向にあります。</p> <p>原因：野菜の産出額が減少した為です。</p>							

01 付加価値の高い農林水産業の確立

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
6次産業化実践者数	名・団体	◎	6	15	15	8	農政課
<p>状況：平成30年度から増加はなかったものの、目標値を達成しています。</p> <p>原因：新たに商品化や商品開発に至った者がいないものの、6次化志向の者が複数おり、今後増加することが期待されます。</p>							
産地化・ブランド化した農林水産物・製品数	品	○	1	2	2	3	農政課
<p>状況：平成30年度から増減はありませんでした。</p> <p>原因：追加の申請及び終了したものがなかったためです。</p>							

02 持続可能な農林水産業構造の構築

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
耕作放棄地面積	ha	◎	46	28	30	46	農政課
<p>状況：平成30年度から2ha増加しています。</p> <p>原因：農業者の高齢化や担い手不足により、耕作放棄地が増加したことによるものと思われます。</p>							
認定農業者数	名	×	370	340	338	388	農政課
<p>状況：平成30年度から2名減っています。</p> <p>原因：新規申請者がいる一方、高齢化等により農業を辞め認定農業者から抜ける人が増えていることが原因と思われます。</p>							
新規就農者数	人	△	5	12	5	13	農政課
<p>状況：平成30年度より7名減少しています。</p> <p>原因：塩谷管内でも減少傾向であり、就農する農業者が減少してきていると思われます。</p>							
生産性向上への農地集約または集積化が成された面積	ha	◎	49	175	226	52	農政課
<p>状況：平成30年度より50.6ha増加しています。</p> <p>原因：昨年度より増加面積が増えており、着実に農地の集積化は図られていると思われます。</p>							

03 地産地消等による農林水産業への理解推進

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
直売所及び加工センター総販売額	百万 円	◎	909	1,122	1,154	1,054	農政課
<p>状況：平成30年度より32百万円増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>原因：鹿子畑直売所のリニューアルオープンや道の駅きつれがわ、J A直売所さくら、あねさん工場の販売額が伸びているためです。</p>							
学校給食における地元食材活用額	千円	◎	1,785	3,243	3,297	1,785	農政課
<p>状況：平成30年度より54千円増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>原因：学校給食における地元食材活用の意識がさらに高まっているとともに、需給のマッチングが円滑に行われているためと思われます。</p>							

IV-2 安定と発展の商工業基盤の充実と強化

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
商業生産額（出典：栃木県市町村民経済生産）	百万 円	×	(10,089) 10,900 (H24)	10,205 (H28)	9,788 (H29)	12,000	商工観光課
<p>状況：調査方法の見直しあり。（ ）の数値。平成30年度より417百万円の減少でした。</p> <p>原因：商業生産額（卸売・小売業）については、10年前から多少の増減があるが、同水準を維持しており、この傾向が続くと思われます。</p>							
工業生産額（出典：栃木県市町村民経済生産）	百万 円	◎	(62,126) 53,002 (H24)	68,863 (H28)	77,601 (H29)	57,600	商工観光課
<p>状況：調査方法の見直しあり。（ ）の数値。平成30年度より5,294百万円の増加でした。</p> <p>原因：工業生産額（製造業）については、順調に増加傾向が続いております。</p>							

01 商業の活性化

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
日用品等を買う場所が近所になくて困っている市民の割合	%	△	19.9	20.3	19.9	15.0	商工観光課
<p>状況：平成30年度より0.4ポイント減少しています。</p> <p>原因：郊外ではドラッグストア等の開設があったため当該地区での利便性は向上しているものの、中心市街地の空洞化が進行したため改善が微少であると思われます。</p>							
商業の事業所数（出典：経済センサス、商業統計調査）	件	-	334 (H24)	-	-	334	商工観光課
<p>状況：調査が実施されていないため値は不明です。</p> <p>原因：状況は不明ですが、中心市街地の空洞化・店主の高齢化等により減少傾向であると思われます。</p>							

02 工業の振興

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
工業の事業所数（出典：工業統計調査）	件	×	108 (H25)	104	100	115	商工観光課
<p>状況：平成30年度より4件の減少でした。</p> <p>原因：事業所数の減少傾向は継続しているものの、事業所の就労人員数や販売額は増加傾向を示していますので、統廃合が進んでいるものと考えられます。</p>							
新規または増設した工場の数（工場誘致条例に基づく補助企業数）	件	○	7 (H22～H26累計)	1	2	10 (5年間累計)	商工観光課
<p>状況：平成30年度より1件の増加でした。</p> <p>原因：設備投資が増加傾向にあることや、企業誘致アドバイザーの活動が効果を上げているものと思われます。</p>							

03 中小企業の経営基盤の強化支援

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
商工会の会員企業数	件	×	1,017	963	947	1,017	商工観光課
<p>状況：平成30年度より企業数が減少しました。</p> <p>原因：商店街の衰退、店主の高齢化等により閉店する商店が増加していると思われます。</p>							

04 まちなかのにぎわい創出

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
氏家駅周辺に賑わいがあると思う市民の割合	%	◎	14.3	15.2	17.3	16.5	商工観光課
<p>状況：平成30年度より2.1ポイント増加しています。</p> <p>原因：さくらテラスの展示やイベント実施などにより賑わいの効果があったと思われます。</p>							
喜連川支所周辺に賑わいがあると思う市民の割合	%	○	7.0	5.2	7.3	8.0	商工観光課
<p>状況：平成30年度より2.1ポイント増加しています。</p> <p>原因：和い話し広場での観光案内、街の駅本陣、笹屋別邸でのワークショップの他、各種お祭り・イベント等が市民に浸透してきたものと思われます。</p>							

05 雇用環境の充実

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
就業者数（個人市民税の納税者数）	人	○	18,248	19,303	19,443	19,500	商工観光課
<p>状況：平成30年度より140人増加しています。</p> <p>原因：さくら市への転入者は横ばいであるが、定年後も再雇用等で働いている高齢者が増加したのではないかと考えられます。</p>							
新規創業者数※累計	人	○	-	13	19	²³ (H27～R02累計)	商工観光課
<p>状況：平成30年度より6人増加し、累計19人となりました。</p> <p>原因：国において認定された創業支援事業が開始され、両商工会、市及び栃木県産業振興センターが連携し、相談窓口設置等による支援体制の整備が図られたことによると思われます。</p>							

IV-3 地域資源を活かした観光の振興

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
観光客入込数	人	◎	700,428	1,895,294	1,954,537	1,900,000	商工観光課
<p>状況：平成30年度と比較して、59,243人増えています。</p> <p>原因：道の駅きつれがわのリニューアル効果が薄れ減少傾向になっていますが、さくらテラスなど他の施設が増加傾向にあることが要因となっています。また、令和元年度より各ゴルフ場の入込数もカウントしたことも要因の一つに挙げられます。</p>							
観光客宿泊数	人	◎	60,743	110,483	109,469	80,000	商工観光課
<p>状況：平成30年度と比較して1,014人減少しています。</p> <p>原因：各宿泊施設により微増や微減のためほぼ横ばいとなっています。</p>							

01 観光PRの充実

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
観光協会ホームページアクセス件数	人	◎	51,000	98,763	207,709	100,000	商工観光課
<p>状況：平成30年度と比較して、108,946人増加しました。</p> <p>原因：令和元年度より観光協会ホームページを廃止し、新たにさくら市観光ナビを立ち上げたため、内容が充実し情報量が格段に増えたためと考えられます。</p>							
マスコミへの露出件数（マスコミ等の取材による露出件数）	人	△	87	94	88	150	商工観光課
<p>状況：平成30年度より6件減少しています。</p> <p>原因：平成30年度はアフター本DC期間であったため、令和元年度は減少したと考えられます。</p>							
ホームページのアクセス件数（市HP・移住促進HP）	件	○	671,491	705,566	718,911	740,000	総合政策課
<p>状況：平成30年度から1.8%増加しましたが、目標値には達せませんでした。</p> <p>原因：10月に起こった台風19号時、市の情報を速報で発信したことへの閲覧増が原因と考えられます。引き続き自治体サービスの情報発信の他、市内イベントの情報発信やコンテンツの充実を図ります。</p>							

02 観光資源の充実と創出

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
観光資源のリニューアル件数	件	△	1	1	1	2	商工観光課
<p>状況：令和元年度においては1件のリニューアルがありました。</p> <p>原因：喜連川温泉のパンフレットを平成30年度にリニューアルした温泉手形のパンフレットに合わせリニューアルをしました。</p>							
新たな観光資源数	件	○	-	10	12	15 (5年間累計)	商工観光課
<p>状況：令和元年度において、2件の新たな観光資源が創出されました。</p> <p>原因：道の駅きつれがわ（温泉棟）の壁面を活用し施設利用者に向けた観光等のP R動画をプロジェクションマッピングで投影可能としました。また、氏家駅乗降者に向けてP Rや啓発を目的とした動画を、プロジェクションマッピングにて氏家駅前交番壁面を活用し投影可能としました。</p>							

03 観光施設の維持管理

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
観光施設の不具合・トラブルによる不稼働日数	日	◎	50	0	0	40	商工観光課
<p>状況：観光施設の不具合・トラブルによる不稼働日はありませんでした。</p> <p>原因：温泉の源泉ポンプの故障が発生しましたが、施設の利用制限を行うことで休業することはありませんでした。</p>							

政策V 機能的で住みやすい安全な都市機能

V-1 安全で快適な交通環境の充実

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
公共交通（鉄道・バス・乗合タクシー）に満足している市民の割合	%	×	60.4	57.7	54.7	70.0	総合政策課
<p>状況：指標の数値が3.0ポイント減少し、目標との差が15.3ポイントになりました。 「鉄道」「バス」「乗合タクシー」ともに悪化しました。 地区別では、「氏家地区」では全て悪化し、「喜連川地区」では、「バス」のみ3.4ポイント向上しました。 原因：令和元年度から喜連川地区を運行するつういんコンタ号の運行を開始しましたが、喜連川地区の住民に周知が不足し、つういんコンタ号を知っている住民が少ないことや「氏家地区」内を主要施設を結ぶ路線がないことが考えられます。</p>							
道路整備に満足している市民の割合	%	△	72.1	76.3	72.9	75.0	建設課
<p>状況：前年度より3.4ポイント下回り、目標を達成できていません。 原因：計画的に市道を整備してきたことにより、市内の道路ネットワークが構築され、円滑な移動に寄与しているものの、局地的に発生する交差点の事故防止対策や計画的な舗装修繕による走行性の向上、更に通学路における安全対策の早期実施等、より細やかで地域の実情に即した道路整備を求める声が高まっていると考えられます。</p>							

01 公共交通機関の確保

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
買い物・通院等に交通手段がなく困っている市民の割合	%	△	13.0	13.4	13.3	10.0	総合政策課
<p>状況：指標の数値が0.1ポイント向上し、目標との差は0.3ポイントになりました。 年齢別では「60～64歳」「64歳～69歳」が特に悪化しており、「20～29歳」「30～39歳」「40～49歳」「70歳以上」は向上しています。 地域別では、「氏家地区」は悪化しており、「喜連川地区」は向上しています。 原因：住民の親や住民自身が免許返納を検討する時期に、買い物・通院等の手段が少なく困っている人の割合が増えていると考えられます。また、喜連川地区では令和元年度からつういんコンタ号を運行したことで、喜連川地区の住民の困っている人の割合が減少したものと考えられます。</p>							
通勤・通学に困っている、不便だと思う市民の割合	%	△	25.9	26.5	25.8	25.0	総合政策課
<p>状況：指標の数値が0.7ポイント向上し、目標値との差が0.8ポイントになりました。 職業別では「会社員」「自営業・会社経営」、特に「学生」の数値が向上しており、「農林水産業」が悪化しています。 原因：利用したいと思うときに利用できる交通手段が少ないことが原因と考えられます。</p>							

02 安全で快適な道路の整備

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
市道改良率	%	○	83.7	84.4	84.6	84.7	建設課
<p>状況：計画どおり改良が進んでいます。</p> <p>原因：道路改良工事を継続的に実施していることに加えて、計画どおりに改良できるよう道路用地の先行取得に努めてきたことが要因と思われます。</p>							
歩行者自転車通行帯の整備済み延長	m	○	52,876	57,861	58,039	60,000	建設課
<p>状況：整備は進んでいるものの、目標の達成には更なる整備が必要です。</p> <p>原因：通学路安全点検結果に基づいて整備を進めてきましたが、道路の拡幅整備が必要な路線があり、整備期間が長期化しているためです。</p>							

03 道路・橋梁の長寿命化と維持管理

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
市が道路管理者として責任を負った事故件数	件	◎	2	0	0	0	建設課
<p>状況：令和元年度は道路管理瑕疵による事故は発生しなかったため、目標を達成しています。</p> <p>原因：道路維持管理業務により、市民から通報のあった損傷個所やパトロールによって発見した破損個所について、早期補修に取り組んできた成果によるものと思われます。</p>							
長寿命化対策として舗装補修を実施した道路延長（累積）	m	○	0	4,346	5,989	10,000	建設課
<p>状況：舗装長寿命化修繕計画に基づき整備を進めていますが、進捗は遅れています。</p> <p>原因：舗装補修予算が不足しているためです。</p>							

V-2 魅力ある良好な市域の形成

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
良好な住生活環境のための計画的な土地利用ができていると感じる市民の割合	%	○	49.7	52.3	54.7	55.0	都市整備課
<p>状況：平成26年度から5.0ポイント増しており、目標値との差が0.3ポイントになりました。</p> <p>原因：土地利用計画に基づき適正な土地利用がなされている結果と思われます。</p>							

01 良好な街並み・景観の形成

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
まちなみの景観が良好だと思う市民の割合	%	◎	78.5	83.8	83.1	80.0	都市整備課
<p>状況：平成26年度から4.6ポイント増加し、目標値を達成しています。</p> <p>原因：市民の景観に対する意識の向上が原因と思われます。</p>							
土地利用調整基本計画に適合しない開発件数	件	◎	0	0	0	0	総合政策課
<p>状況：0件で推移し、目標値を達成しています。</p> <p>原因：適正な土地利用がなされるよう協議したことが原因と思われます。</p>							

02 定住・転入の促進

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
転入超過数	人	◎	3	-63	98	24	総合政策課
状況：目標値を達成しています。 原因：定住人口の増加を目指す施策の効果によるものと思われます。							
住宅建築棟数	棟	◎	303	321	241	1,380 (5年間累計)	都市整備課
状況：平成30年度から80棟減少(H27～R01までの累計1,411棟)。目標値を達成しています。 原因：転入者の減少により、宅地分譲地の購入者及び建替件数の減少が原因と思われます。							
民間開発による供給区画数（新規に1,000㎡以上の宅 地開発をされた分譲区画数）	区画	◎	33	44	56	232 (H27～R02累計)	都市整備課
状況：平成30年度から12区画増加しています(H27～R01までの累計248区画)。目標値を達成しています。 原因：立地条件に恵まれた大野地区周辺の宅地分譲が増加したことが原因と思われます。							

03 みどりの憩い空間の形成

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
公園・街路樹等が適正に管理されていると思う市民の割合	%	◎	79.8	85.4	85.0	80.0	都市整備課
状況：目標値を達成しています。 原因：日常の草刈などの維持管理及び、定期的な施設の点検・補修を実施した結果と思われます。							
市が公園管理者として責任を負った事故件数	件	◎	0	2	0	0	都市整備課
状況：目標値を達成しています。 原因：定期的な施設の保守点検や樹木の剪定・伐採により適切な維持管理が行われている結果と思われます。							

V-3 暮らしの安全・安心な社会の構築

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
交通事故発生件数	件	×	112	106	116	85	生活環境課
<p>状況：30年度と比べ10件増加しました。</p> <p>原因：県内の国道4号での事故が増加している影響を受けたと思われます。</p>							
全刑法犯数	件	◎	348	231	198	230	生活環境課
<p>状況：30年度と比べ33件減少しました。</p> <p>原因：各種防犯活動の成果が出ていると思われます。</p>							

01 交通安全意識の向上

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
交通ルールを順守している市民の割合	%	○	93.7	95.1	94.3	95.0	生活環境課
<p>状況：30年度と比べ0.8ポイント減少しました。</p> <p>原因：ここ4年間、目標値を上回る年も下回る年もありますが、近接する値で推移しており、広報・啓発活動の成果が出てきていると思われます。</p>							

02 交通安全対策の推進

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
交通安全施設整備対応率（カーブミラー・信号・ガードレール・道路照明）	%	◎	83.3	77.7	93.8	85.0	生活環境課
<p>状況：30年度と比べ、16.1ポイント増加しました。</p> <p>原因：前年度で要望に上がった引継ぎ分を合わせ、設置要望には積極的に取組み、カーブミラー15箇所を設置しました。</p>							

03 防犯意識の向上

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
自主防犯団体数	団体	×	30	30	24	30	生活環境課
<p>状況：30年度と比べ6件減少しました。</p> <p>原因：各団体員の高齢化が進んでおり、活動休止や解散があるためと思われます。</p>							

04 防犯対策の推進

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
防犯灯設置数	基	◎	2,931	3,394	3,418	3,300	生活環境課
<p>状況：新規防犯灯の設置が進み24基増えました。</p> <p>原因：設置条件を満たしている要望には100%対応できました。</p>							

05 消費者行政の充実

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
この一年間に消費生活関係のトラブルにあった市民の割合	%	△	4.0	5.2	6.0	2.0	生活環境課
<p>状況：30年度より0.8ポイント増加しました。</p> <p>原因：光回線の勧誘や、分かりにくい定期購入の案内が増えたことに伴い、増加したものと思われます。</p>							
クーリングオフ制度を知っている市民の割合	%	○	83.3	87.5	87.2	88.3	生活環境課
<p>状況：30年度より0.3ポイント減少しました。</p> <p>原因：基準年から29年度までの値は上回っており、徐々に広報・啓発活動の成果が出てきていると思われます。</p>							

V-4 いのちと暮らしを守る災害に強いまちづくり

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
災害被害戸数	戸	◎	36	0	5	36	総務課
<p>状況：令和元年度被害件数は5件でした。</p> <p>原因：台風19号により被災した建物が、その後の家屋被害認定調査により一部損壊となったためです。</p>							

01 市民の防災意識の向上

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
防災対策平均実践項目数	個	○	3.86	3.92	3.95	4.00	総務課
<p>状況：平成30年度と比べやや上昇しております。</p> <p>原因：各地で災害が発生したことにより家庭における備えについて意識が高まったと思われます。</p>							

02 地域防災力の強化

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
規約に基づいた自主防災組織の結成数	団体	○	6	24	28	30	総務課
<p>状況：平成30年度と比べ4団体増加しました。目標達成に近づいています。</p> <p>原因：令和元年度中、自主防災組織設立に向けた地元説明会等に参加したこと、宇都宮大学生との協働事業による働きかけが増加につながったと思われます。</p>							
防災訓練等に参加した防災士の延べ人数	人	◎	40	25	142	60	総務課
<p>状況：平成30年度と比べ大幅に増加しております。</p> <p>原因：令和元年度は、防災士に対するフォローアップ研修を4回実施（うち1回は新型コロナウイルス感染症のため中止）しており、多数の防災士に参加いただいたことが要因となっております。</p>							
地域協議会の数（累計）	地区	△	0	0	0	3 (5年間累計)	総合政策課
<p>状況：地域協議会の数は増加しませんでした。</p> <p>原因：地域運営組織支援モデル事業補助金交付事業をスタートし、立ち上げの総仕上げとなる年でありましたが、台風による一大イベントの中止や下半期における新型コロナウイルスの影響で、集まり議論する機会が失われたことが大きいと思われます。</p>							

03 行政による防災体制の整備

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
自主参集しなければならない災害規模を正しく理解している市職員の割合	%	△	80.2	84.5	80.6	90.0	総務課
<p>状況：平成30年度と比べ減少しています。</p> <p>原因：アンケート結果によると、「あまり理解していない」「理解していない」と回答したうちの66%は主査以下の若手職員となっています。研修や訓練による理解度の向上が必要と考えます。</p>							
災害時の情報伝達手段の機能不全件数	件	◎	0	0	0	0	総務課
<p>状況：平成30年度と同様で、目標値を達成しております。</p> <p>原因：日頃からの各情報機器の保守点検を実施している成果と思われます。ただし、防災行政無線の再生電話がつながりにくいという意見があるため、応答回線の増設を実施しました。</p>							

04 雨水・浸水対策の整備

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
道路冠水箇所数	箇所	×	0	16	34	0	建設課
<p>状況：平成30年度に比べ増加しています。</p> <p>原因：10/12の台風19号により、江川が溢水したことにより沿線の道路で冠水が発生したものとされます。</p>							
建物浸水箇所数（床下以上）	箇所	×	0	38	8	0	建設課
<p>状況：平成30年度に比べ減少しています。</p> <p>原因：10/12の台風19号により、市内数ヶ所で水路等の排水機能が麻痺し、建物浸水が発生したものとされます。</p>							

V-5 安全でおいしい水道水の安定供給

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
水道普及率	%	○	90.3	91.9	91.4	94.0	水道課
<p>状況：平成30年度と比較して、0.5ポイント減少した。これらは、人口減少によるものです。</p> <p>原因：平成30年度より給水人口が337人減少しました。平成26年度から実施している水道未普及地域解消事業により氏家北東部及び氏家南東部地区の整備区域が拡大したことや水道整備済み区域内の新規住宅建設などにより、水道の新規加入者は見られますが、人口減少が上回った結果となりました。</p>							
水道に対する満足度	%	○	90.6	94.8	94.1	95.0	水道課
<p>状況：平成30年度と比較して、0.7ポイント減少しています。</p> <p>原因：水質異常など発生せず、安心安全な水道水が安定供給できているため満足度は、高い数値で推移しています。</p>							

01 水道施設の維持管理・更新

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
有収率	%	×	80.0	74.6	72.9	86.0	水道課
<p>状況：平成30年度と比較して、1.7ポイント減少しています。</p> <p>原因：水道未普及地域解消事業により新設配水管の布設工事を重点的に実施していることから、管内の洗浄水を多量に使用しています。また、末端となる配水管が多く存在し、排水作業を実施して水質保持を行っているために、有収水量が低下しています。</p>							
石綿管の残存延長	m	○	25,254	22,355	21,478	16,254	水道課
<p>状況：平成30年度と比較して、877m減少しましたが、まだ多くの石綿管が布設されています。</p> <p>原因：老朽管の布設工事や下水道に伴う配水管移設工事により、石綿管の延長は着実に減少しています。現在は、水道未普及地域解消事業を優先的に行っているため石綿管から耐震管への取替工事は小規模なものとなり、大幅な減少まではできていない状況です。</p>							

02 水道未普及地域の解消

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
未普及地域における配水管整備率（計画延長に対する整備延長割合）	%	○	13.5	71.5	85.9	95.0	水道課
<p>状況：平成30年度と比較して、14.4ポイント増加し順調に増加しています。</p> <p>原因：水道未普及地域解消事業に対して一般会計からの出資金を受入れ、重点的に新設配水管の布設工事を大規模に実施し整備率が伸びています。</p>							

03 水道事業の安定経営

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
経常収支比率	%	△	112.6	111.1	110.4	115.0	水道課
<p>状況：平成30年度と比較して0.7ポイント減少しました。高い水準の推移となっています。</p> <p>原因：給水収益は減少しています。併せて、減価償却費の増加と老朽化した施設の修繕費が増加しているため、数値が若干下がりました。</p>							

V-6 良好な水資源を保全する下水道の整備

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
水洗化率（氏家地区）	%	◎	83.4	93.8	94.9	86.8	下水道課
<p>状況：平成30年度と比較し1.1ポイント増加しました。</p> <p>原因：新規住宅着工における下水道接続の増加が主な要因。また管渠工事の際の戸別訪問説明や広報誌によるP Rも効果をあげていると思われます。</p>							
水洗化率（喜連川地区）	%	◎	64.7	69.5	70.8	70.6	下水道課
<p>状況：平成30年度と比較し1.3ポイント増加しました。</p> <p>原因：下水道接続の増加が主な要因。また管渠工事の際の戸別訪問説明や広報誌によるP Rも効果をあげていると思われます。</p>							

01 下水道の整備

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
下水道整備済区域内人口（氏家地区）	人	○	18,463	19,000	19,126	21,229	下水道課
<p>状況：平成30年度より126人増加しました。</p> <p>原因：管渠築造工事による供用開始面積の増加や新築住宅建築による新規下水道接続件数の増加のためと考えられます。</p>							
下水道整備済区域内人口（喜連川地区）	人	◎	2,646	2,708	2,650	2,650	下水道課
<p>状況：平成30年度より58人減少しました。</p> <p>原因：既整備区域内人口の減少のためと考えられます。</p>							
下水道普及率（氏家地区）	%	△	55.0	55.8	56.0	62.2	下水道課
<p>状況：平成30年度と比較し0.2ポイント増加しました。</p> <p>原因：住民基本台帳人口の伸びに対して処理区域内人口増加割合がわずかに上回ったことによるものです。</p>							
下水道普及率（喜連川地区）	%	◎	24.6	26.9	26.9	25.2	下水道課
<p>状況：平成30年度と比較し増減はありませんでした。</p> <p>原因：住民基本台帳人口、処理区域内人口ともに増加数がほぼ同割合であったことによるものです。</p>							

02 施設の維持管理

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
機能不全件数（氏家地区）	日	◎	0	0	0	0	下水道課
状況：機能不全は発生していません。 原因：適切な維持管理・更新・修繕を実施しているためです。							
機能不全件数（喜連川地区）	日	◎	0	0	0	0	下水道課
状況：機能不全は発生していません。 原因：適切な維持管理・更新・修繕を実施しているためです。							

03 下水道事業の安定経営

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
経常収支比率	%	◎	100.0	191.4	131.7	100.0	下水道課
状況：目標値を達成しています。 原因：平成30年度より低下した原因については法適用し公営企業会計へ移行したことにより営業費用が前年度より増加したためです。							

政策VI 次代に引き継ぐ豊かな自然と環境

VI-1 次世代に継承する自然環境の保全

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
市が自然環境に恵まれていると思う市民の割合	%	○	90.1	93.7	94.7	95.0	生活環境課
<p>状況：基準年と比較して4.6ポイント増加しています。</p> <p>原因：自然観察会や自然環境研修会などを通して、市民が自然環境と触れ合う機会が増えた結果と思われます。</p>							
地球温暖化対策等に効果的な行動の平均実践項目数	個	△	4.00	3.98	4.07	5.00	生活環境課
<p>状況：基準年と比較して、0.07個増加しています。</p> <p>原因：近年の異常気象の要因の一つと考えられている地球温暖化への意識が高まり、省エネに対する行動が見直されてきている結果と思われます。</p>							

01 環境保全活動の推進

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
環境保全活動に参加している市民の割合	%	×	1.6	2.2	1.4	2	生活環境課
<p>状況：基準年と比較して、0.2ポイント減少しています。</p> <p>原因：市内一斉清掃などに取り組む参加者の高齢化や地域コミュニティの希薄化などが原因と思われます。</p>							
ISO14001などを取得している市内事業所数	件	◎	7	10	10	8	生活環境課
<p>状況：基準年と比較して、3件増加し、目標値を達成しています。</p> <p>原因：市内の事業所が積極的に環境保全活動に取り組み、効果が出ている結果と思われます。</p>							

02 CO2抑制と再生可能エネルギーの推進

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
太陽光やヒートポンプなどの新エネルギーを導入している市民の割合	%	◎	14.9	20.6	19.3	16.0	生活環境課
<p>状況：基準年と比較して、4.4ポイント増加し、目標値を達成しています。</p> <p>原因：太陽光発電システムは、固定価格買取制度の継続により普及が進んでいます。市においても太陽光発電システムやペレットストーブの導入に関して補助金を交付するなど、再生可能エネルギーの導入を推進しています。</p>							
省エネルギーに取り組んでいる市民の割合	%	△	89.6	90.7	91.0	95.0	生活環境課
<p>状況：基準年と比較して、1.4ポイント増加しています。</p> <p>原因：省エネ行動に対する理解が深まった結果と思われます。</p>							
市域での年間電力使用量	Gwh	-	360	-	-	339	生活環境課
<p>状況：01年度の指標は把握できません。</p> <p>原因：01年度の電力使用量データが把握できないことによります。</p>							

03 緑地の保全・育成

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
森林の整備面積	ha	×	70	12	14	77	農政課
<p>状況：基準年と比較して、56ha減少しています。</p> <p>原因：林業事業者の施業において、下刈・間伐・造林の実施減及び元気な森づくり県民税事業の奥山林整備事業が平成29年度で終了となったことによるものです。</p>							

VI-2 5 Rによる循環型社会の実現

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
家庭系・事業系ごみの排出量	t	×	10,653	11,053	10,894	10,440	生活環境課
<p>状況：平成30年度と比較して、159 t の減少です。</p> <p>原因：平成30年度と比較し、事業系可燃ごみが約2 t 増加しましたが、家庭系可燃ごみが約162 t 減少したためです。継続的な広報や啓発活動によるものと思われます。</p>							

01 廃棄物抑制の推進

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
1日1人当りの家庭系可燃ごみ排出量	g	×	481	504	495	439	生活環境課
<p>状況：平成30年度と比較して、9gの減少です。</p> <p>原因：平成30年度と比較し、家庭系可燃ごみが約162 t 減少したためです。継続的な広報や啓発活動によるものと思われます。</p>							
事業系可燃ごみの排出量	t	△	2,927	2,937	2,939	2,868	生活環境課
<p>状況：平成30年度と比較して、2 t の増加です。</p> <p>原因：平成30年度と比較し、許可業者への委託分については、約24 t 減少しましたが、事業所の直接搬入分について、約26 t 増加したためです。</p>							

02 不法投棄等の不適正処理の抑制

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
不適正処理事案発見件数（不法投棄・野焼き）	件	×	50	97	68	46	生活環境課
<p>状況：平成30年度と比較して、29件の減少です。</p> <p>原因：行為者への指導や広報紙、HPによる意識啓発の浸透によります。</p>							

03 リサイクル活動の推進

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
家庭系資源物回収量	t	×	1,156	855	848	1,185	生活環境課
<p>状況：平成30年度と比較して、7 t の減少です。</p> <p>原因：主に古紙類・ペットボトルについて、市内スーパー等に設置されている資源物回収ボックス等に積極的に排出されているものと思われます。</p>							
資源化率	%	×	13.2	9.4	9.4	14.0	生活環境課
<p>状況：平成30年度と比較して、増減無しです。</p> <p>原因：主に古紙類・ペットボトルについて、市内スーパー等に設置されている資源物回収ボックス等に積極的に排出されているものと思われます。</p>							

04 ごみの収集・処理体制の適正化

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
市民1人当りのごみ収集処理コスト	円	×	7,057	5,307	7,629	5,129	生活環境課
<p>状況：平成30年度と比較して、2,322円の増加です。</p> <p>原因：歳入については、平成30年度と比較して、古紙回収等売上金が減少しましたが、ごみ処理手数料が増加したことにより、若干の増加となっています。歳出については、ごみ処理券の購入費用、ごみの総排出量が減少しましたが、次期環境施設建設に伴い塩谷広域行政組合負担金が大幅に増加しています。全体として、歳入増ではありますが、歳出の大幅増のため、ごみ収集処理コストが増加しています。</p>							
ごみ収集に関する不具合・事故件数	件	×	13	22	35	10	生活環境課
<p>状況：平成30年度と比較して、13件の増加です。</p> <p>原因：分別の仕方等が誤って認知されている結果によるものと思われます。</p>							

05 リユース（再使用）活動の促進

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
再利用品・中古品を利用している市民の割合	%	◎	45.5	44.7	46.4	46.0	生活環境課
<p>状況：基準値比1.1ポイントの増加です。</p> <p>原因：消費税増税を起因とした市民の節約志向の増加と、それに比例して再使用に取組む市民が増加したものと思われます。</p>							

VI- 3 ルールとモラルにもとづく生活衛生環境の向上

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
清潔で衛生的な生活環境だと思ふ市民の割合	%	△	81.8	83.1	80.8	85.0	生活環境課
<p>状況：基準年と比較して1ポイント減少しています。</p> <p>原因：空き家の増加などにより、周辺地域のモラルが低下している可能性があります。</p>							

01 公害防止対策の推進

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
環境基準達成率（水質）	%	◎	85.5	87.3	91.3	91.0	生活環境課
<p>状況：基準年と比較して、水質の環境基準達成率が5.8ポイント増加し、目標値を達成しました。</p> <p>原因：公害予防に関する啓発活動等により環境基準が保たれています。</p>							
環境基準達成率（大気）	%	◎	100.0	100.0	100.0	100.0	生活環境課
<p>状況：大気に関する環境基準を達成しています。</p> <p>原因：公害予防に関する啓発活動等により環境基準が保たれています。</p>							
環境基準達成率（騒音）	%	◎	100.0	100.0	100.0	100.0	生活環境課
<p>状況：騒音に関する環境基準を達成しています。</p> <p>原因：公害予防に関する啓発活動等により環境基準が保たれています。</p>							

02 生活排水対策の推進

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
合併処理浄化槽へ転換した世帯数（市の補助対象のみ）	世帯	×	26	12	16	33	下水道課
<p>状況：平成30年度と比べ、4世帯の増加となりました。目標値（5年平均値）を下回っています。</p> <p>原因：転換にかかる費用の負担が大きいためや、下水道供用開始地域の増加、くみ取り槽・単独浄化槽利用世帯数の減少によるものと思われます。</p>							

03 犬・猫の適正飼養の推進

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
犬・猫に関する年間苦情件数	件	◎	56	18	14	31	生活環境課
<p>状況：基準年と比較して42件減少して、目標値を達成しています。</p> <p>原因：県と連携するなどして、犬や猫の適正飼育を推進してきたことによるものと思われます。</p>							

04 美化運動の推進

成果指標名	単位	R1 評価	基準値 (H26)	H30年度	R1年度	目標値 (R2)	担当課
公共の場所が清潔に保たれていると感じる市民の割合	%	○	69.1	70.8	73.4	80.2	生活環境課
<p>状況：基準年と比較して、4.3ポイント上昇しています。</p> <p>原因：環境美化活動等により生活環境の保全が図られていることによるものと思われます。</p>							